



がんばるキミを応援したい

## 川崎市 子ども・若者 応援基金

川崎市では、「頑張る子ども・若者を応援する互助のまちづくりの推進」のために、「川崎市子ども・若者応援基金」を設置しています。

みなさまからの寄附を募っていますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

本基金には、川崎市競輪事業及び神奈川県川崎競馬組合競馬事業の収益が充てられています。

### 令和元年度の取組紹介

川崎市こども未来局総務部企画課  
電話：044-200-1135  
メール：45kikaku@city.Kawasaki.jp

# 令和元年度 子ども・若者応援基金 活用実績

基金を活用した頑張る子ども・若者の応援は、「機会格差をなくす取組」と「子ども・若者の挑戦の後押し」の2つの柱で構成しています。令和元年度は4種の応援を行い、合計27,157,200円を支出しました。ここでは、それらの概要と、実際に応援を受けた子どもたちの声を紹介します。

※基金の現在高：157,422,617円（R3.3.1時点）

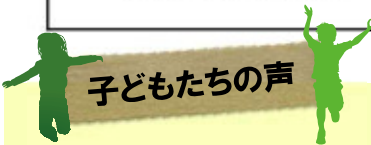


## 機会格差をなくす取組

### 1 社会的養護奨学給付金 令和元年度実績 決算額:8,460,000円 事業対象者:15人

里親家庭や児童養護施設等の退所者等を対象に、大学等進学時の奨学金や資格取得に要する経費に対し、給付金を支給しました。

大学等進学奨学金	大学等の学資に充てるための給付金 (国公立大学等：月額3万円、私立大学等：月額5万円)
資格取得給付金	一般教育訓練講座の受講経費に対する給付金 (対象講座の終了に必要な入学料、受講料、教材費)



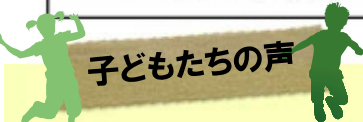
### 子どもたちの声

- 奨学給付金のおかげで養成校に通うことができます。保育士を目指し頑張ります。(大学1年生)
- 私は現在、私立の大学に通っており、福祉の勉強をしています。給付金をもらうことで学費の負担が減り、学業に専念することができます。(大学1年生)
- 私は4月に専門学校に進学しました。給付金をもらい学費にあてることでとても助かっています。これを励みに保育士資格の取得を目指します。(専門学校1年生)
- 私はグラフィックデザインの分野に興味があり、専門学校へと進学しました。この給付金を受けられた事で金銭面での負担が軽減され、自分がチャレンジしたかった事が出来るようになりました。ありがとうございます。(専門学校1年生)

### 2 学習支援費 令和元年度実績 決算額:8,999,319円 事業対象者:23人

里親家庭や児童養護施設等の児童に対して、児童の個性に応じた学習支援を行うための費用を支給しました。

地域人材・NPO法人等を活用	団体実施の学習支援を利用する場合や施設等に招いて学習支援を行う場合の経費
教材等を活用	里親や施設で、市販の教材等を活用して学習支援を行う場合の経費
塾及び家庭教師	塾や家庭教師を利用する場合の経費



### 子どもたちの声

- 小学校3年生の時から塾に通い、国語と算数を教わっています。学校の授業も理解することができ、楽しく学習できています。(小学4年生)
- 「いちぶんのいち(教材)」をやることで学校の授業の復習をすることができました。その後テストの時に100点を取ることが多くなりました。予習をすることもできるし復習をすることができるので勉強が分かりやすく、よく進みます。(小学6年生)
- 私はこの学習支援費を使って塾に行かせていただいています。まだ通い始めて日が浅いですが、確実に力がついてきていると感じています。私は将来看護師になりたいと考えています。そのために一生懸命勉強しています。来年は受験生なので、第一志望校に合格するために継続していきたいです。(高校2年生)
- 私は現在高校3年生で栄養士の資格をとるため、希望する大学に合格する事を目指して受験勉強をしています。自分一人で勉強したり高校の先生に教えてもらうだけでは不安ですが、この支援費があることで塾に通うことができています。来年、大学進学した際は給付型奨学金を活用して生活に役立させて頂きます。(高校3年生)

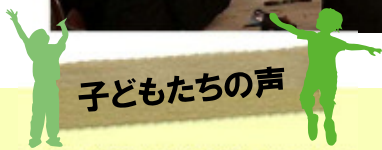
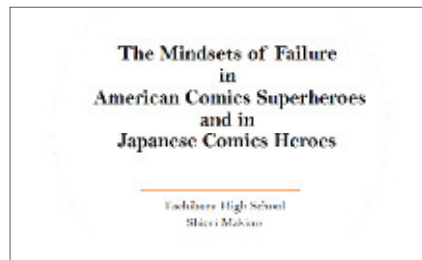




## 子ども・若者の挑戦の後押し

### 3 Stanford e-Kawasaki 令和元年度実績 決算額:8,725,600円 事業対象者:20人 ※市立川崎高校、市立橋高校の2年生及び3年生 各校10人

スタンフォード大学の国際異文化教育プログラム（SPICE）と連携し、「多様性」と「アントレプレナーシップ（起業家精神）」をテーマに、高校生向けのプログラム「Stanford e-Kawasaki」を開講しました。約半年間、事前課題の提出、ゲストスピーカーによる講演、グループディスカッションを繰り返し、最後は、自ら選んだ研究テーマのプレゼンテーションを行いました。なお、プログラムは、全て英語で実施しています。



#### 子どもたちの声

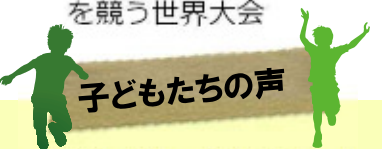
- プログラムを受講したことで、未知の分野に挑戦する勇気を得ました。このような機会とサポートを提供していただき、ありがとうございました。（高校2年生）
- 初めのうちは、英語で質問するのを躊躇してしまいましたが、最後の方は、ミスを恐れず、自信をもって取り組むことができました。人生に一度しかないような経験をさせていただき、感謝しています。（高校2年生）
- このような機会を与えていただき、ありがとうございました。新しいことに挑戦すること、自分の視野を広げることに、意欲的になりました。（高校2年生）
- ゲストスピーカーと他の受講生から新しい考え方を学ぶのはいつも刺激的でした。このような機会を提供していただき、ありがとうございました。これからも学び続けたいと思います。（高校2年生）
- たくさんの意見があり、時には自分とは反対のものもありましたが、それも含めて学ぶことで、自分の視野がすごく広がりました。（高校3年生）

※学年は受講時のものです。

### 4 ハイパーloop・コンペに挑戦！ 令和元年度実績 決算額:972,281円 事業対象者:20人 ※市立総合科学高校1～3年生

慶應義塾大学と連携し、同大学新川崎タウンキャンパス内で市立川崎総合科学高校の生徒が「ハイパーloop・コンペ（※）」に参加する浮上ポッド（車両）の製作活動を行いました。基礎・安全衛生にはじまり、計測装置の高精度化、モータ制御、レイアウト設計など、実作業を行いながら高度な技術を学びました。

※ チューブ内にポッド（車両）を浮上させ、移動させる技術（速さ）を競う世界大会



#### 子どもたちの声

- 大学と高校の技術が融合することで、高校生活では身に付かないグローバルに使える技術を学べ、不可能だった事に挑戦することができました。（高校2年生）
- 大学と合同研究したことで、高校ではできないハイレベルの高い研究や、専門家の方々の知識や意見を聞いて勉強になりました。（高校2年生）
- 普段の授業で学んだことを実際に活かすことができよ経験になりました。（高校2年生）

※学年は受講時のものです。



# 川崎市子ども・若者応援基金 寄附のご案内



## 寄附のお手続き

### クレジットカードによる納付

市内在住の方、市外在住で「川崎市子ども・若者応援基金」に使い道を希望される方は、川崎市ホームページ「川崎市ふるさと納税」からお手続きください。  
※ホームページ内のクレジットカードによる納付（外部リンク）よりお進みください。返戻品をご希望の場合、詳細な使い道の指定はできません。



### クレジットカード以外による納付

#### ●個人の方

「川崎市ふるさと応援寄附金申込書」に必要事項を記入し、選択メニューの「頑張る子ども・若者を応援する互助のまちづくりの推進」にチェックをして郵送、ファックスまたはEメールで送付してください。

#### ●企業やその他団体の方

子ども未来局総務部企画課（044-200-1135）へご連絡ください。

→ 納付書がお手元に届きましたら、川崎市が指定する金融機関でお振り込みください。

#### 指定金融機関一覧

横浜銀行、りそな銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、川崎信用金庫、三井住友銀行、神奈川銀行、商工組合中央金庫、静岡中央銀行、三井住友信託銀行、セレサ川崎農業協同組合、中央労働金庫、城南信用金庫、神奈川県医師信用組合、横浜幸銀信用組合、世田谷信用金庫、東日本銀行、芝信用金庫、さわやか信用金庫、きらぼし銀行、横浜信用金庫、みずほ信託銀行、ハナ信用組合、静岡銀行、群馬銀行、ゆうちょ銀行

※ ゆうちょ銀行での収納は、1都7県（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨）に所在する店舗及び郵便局に限ります。



## 寄附金控除について

川崎市など地方自治体に対する寄附を行った場合には、その支出した寄附金のうち2千円を超える額について、個人住民税及び所得税の寄附金控除の適用を受けることができます。後日、確定申告の際に必要となりますので、受領書は大切に保管してください。

※ 寄附金控除を受けるには、領収書等の寄附金の受領を証明する書類に添えて、最寄りの税務署で所得税の確定申告等の手続きをしていただく必要があります。

詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

川崎市子ども・若者応援基金

検索



問合せ先：川崎市子ども未来局総務部企画課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-1135 メール：45kikaku@city.kawasaki.jp

令和3年3月発行